

甕かめについて

第2次調査(平成30年)で、調査区南側の9号方形周溝墓ほうけいしゅうこうぼの南溝から完形の甕かめが2点出土しました。2点とも、口径と胴部の最大径がほぼ等しく、頸部けいぶが緩やかにくびれる平底の器形です。頸部けいぶには櫛状工具くしじょうこうぐで波状の文様が施され、胴部にはハケ調整がみられることから、弥生時代後期(約2,000年前)のものと考えられます。周溝墓もこの時期に造られたと考えられます。